日本観光研究学会・関西支部ニューズレター

観光学

第２号　2013年度
（2014年３月発行）

JITR-Kansai
Japan Institute of Tourism Research
No.2

写真：守山市うの家（撮影：小長谷）

日本観光研究学会・関西支部（JITR-Kansai）
ニューズレター『観光学』第２号　2013年度（2014年３月発行）

１．関西支部ニューズレター第２号が発行されましたー会長のことば

発刊の継続は活動あってのことであり、支部幹事の皆様をはじめ会員の皆様のご協力、ご支援に感謝申し上げます。関西支部は昨年７月に設立10周年を迎えました。支部会員は、本州における石川県、福井県、滋賀県及び三重県以西並びに山口県以東の府県と四国の４県の会員が自動的に登録され、その数は200名を超えています。2014年度の全国大会は大阪府立大学（I-siteなんば）での開催です。昨年12月の全国大会で大阪開催のアピールがなされ、大きな期待が寄せられています。関西支部の全面的支援により大いに盛り上げていただきたく思っています。関西支部が中心となって設立されたNPO法人「観光力推進ネットワーク・関西」の活動が益々活発化するとともに、その中の組織である学生連絡協議会も、学生が主体的に企画・実施運営を行い様々な事業を展開しています。北陸、近畿、中国、四国と支部の範囲は広いですが、会員の皆様の積極的な参加・交流を望みます。

日本観光研究学会会長　桑田政美

２．ニューズレター発行を記念してー関西支部支部長のことば

古代衣装によるおもてなしを実践する

関西支部の活動に今年もご協力ご支援いただきありがとうございました。

インバウンド1,000万人の目標が達成されました今年、関西空港や関西各地にも多くの外国人が訪れました。大阪にはキタ、ミナミに加えて天王寺地区の開発が進み、大きな宿泊容量をもつ滞在基地が生まれ、一方新今宮地区など低廉で利用しやすく、外国人に優しい宿泊基地（国際ゲストハウス地域）も充実してきました。ハラール対応や無料WiFi、国内交通機関の連携など果たすべき課題はまだありますが、多様な観光資源が集積し、日本を代表するおもてなし文化を持つ関西がますます注目されることはまちがいありません。

今年の意見交換会ではアニメを中心としたコンテンツツーリズムをテーマに議論し、地区懇話会ではヘルスツーリズムについて検討しました。 観光研

究部会では日本伝統のヘルスツーリズムである温泉の歴史、観光サロンではインバウンドにとっても重要なLCCの現状や観光情報サイトなどの事例を学びました。関西支部として支援するNPO観光力推進ネットワーク・関西では、今年も観光マネジメント講座を開催し、さらに２カ所で出前講座を行って地域の人材養成のお手伝いを行いました。

関西の多様な資源や文化を多様なメディアにのせて発信し、お客様の目線でおもてなしをする関西観光文化の充実に向けて2014年度も多方面で活動して参ります。皆様のご支援をよろしくお願い申し上げます。

日本観光研究学会関西支部長　吉兼秀夫（阪南大学）

３．13年度の活動を振り返ってー関西支部副支部長のことば

今年は年度当初から円安、約５年半ぶりに回復した株価等により景気回復への期待が膨らみました。さらに富士山の世界文化遺産登録や2020年東京五輪の決定は観光を学ぶ学生達にとって明るい未来を拓いてくれたように思います。関西支部では吉兼支部長を中心にさまざまな活動を実施することができました。５月の「意見交換会」では、奈良県立大学の岡本健先生にコンテンツツーリズムに関するご講演とパネルディスカッションでは活発な議論が展開されました。「観光サロン」では、新関西国際空港(株)の石川浩司様に「関西国際空港におけるLCCの現状と将来の課題」について、NPO法人スマート観光推進機構理事長の星乃勝様には「観光情報サイト」のご講演をいただきました。「観光研究部会」では大阪観光大学の内田彩先生に「日本における滞在型観光の原型ー江戸後期の温泉地」のご研究発表をいただき、いずれも参加者全員熱心聴講し、質疑応答が遅くまで続きました。これも会員の皆様のご支援の賜物と感謝申し上げます。一方で支部活動の情報発信方法や学生への支援に関して課題も残されました。今後早急に改善に努めて参りますので来年度も皆様のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

日本観光研究学会関西副支部長　国枝よしみ（大阪成蹊短期大学）

４．支部活動１『関西支部総会』＋『第10回　意見交換会：関西から観光立国・立圏を考える』

【日　　時】2013年５月18日（土）総会11:00 ～ 12:00、意見交換会13:00 ～ 17:00

【会　　場】大阪駅前第２ビル６階　大阪市立大学文化交流センター「大ホール」

【総会議案】2012年度活動報告および収支決算、2013年度活動計画および収支予算の承認

【意見交換会プログラム】

１）特別講演：　国土交通省近畿運輸局企画観光部長 森 宏之氏「観光立国における観光政策の現状」

２）基調講演：　奈良県立大学講師　岡本 健 氏「コンテンツ・アニメ聖地巡礼・観光創造―『ｎ次創作観光』を手掛かりにコンテンツツーリズムと地域社会を考える」

３）パネルディスカッション：　「関西圏におけるコンテンツツーリズムー現状と課題」○パネリスト：油井 清光 氏（神戸大学大学院教授）、岡本 順子 氏（地域情報サイト「西宮流（にしのみやスタイル）」編集室代表）、大野 聡 氏（大阪フィルム・カウンシル チーフ・コーディネータ）、岡本 健 氏（奈良県立大学講師）○コーディネータ：原 一樹（日本観光研究学会関西支部幹事・神戸夙川学院大学准教授）

４）意見交換：参加者との質疑応答、情報提供

５）交流会（18:00 ～ 20:00）

５．支部活動２『地区懇話会』（写真は最終頁）

【日　　時】2014年２月23日（日）13:00 ～まちあるき、14:30 ～基調講演・シンポジウム

【会　　場】滋賀県守山市「うの家」（滋賀県守山市守山一丁目10-2）（「うの家」は中山道守山宿にある旧家で宇野宗佑元首相の生家）

【テ ー マ】「健康をテーマとした観光のあり方ー守山市を事例にー」

高度医療施設をはじめ、健康素材、環境素材を豊富に持つ滋賀県守山市に訪問し、ヘルスツーリズムの観点からどのような観光まちづくりの展開が可能を議論しました。宇野元首相生家の「うの家」を会場とし、ヘルスツーリズム、地域の資源と食などを活用した観光まちづくりについてのご講演のあと、共に議論し、地元の方との懇親も深めました。

【守山市まちあるき】

12時50分～守山駅集合、中山道を中心とした町歩き（駅前観光案内所、ホタルの里、中山道など）

【プログラム】

14時30分～

1）基調講演「ヘルスツーリズムの現状」西村典芳氏（神戸夙川学院大学教授）
2）ミニシンポジウム「健康をキーワードにした観光まちづくり」コーディネータ：吉兼秀夫（阪南大学教授）
　パネリスト：西村典芳氏（神戸夙川学院大学教授）、川端均氏（ファーマーズ・マーケットおうみんち　事業部長）、小島秀晃氏（守山市商工観光課長）
3）懇親会（地産地消の店「忍ぶ庵」17時30分～）

６．支部活動３「観光学研究部会」

（１）第９回観光学研究部会

【日　　時】2013年11月26日（火）19:00 ～
【会　　場】阪南大学サテライト（淀屋橋）
【テ　ー　マ】「日本における滞在型観光の原型ー江戸後期の温泉地ー」
【講　　師】大阪観光大学講師　内田 彩 氏

７．支部活動４「観光サロン」

（１）第１回観光サロン

【日　　時】2013年９月24日（火）19:00 ～
【会　　場】阪南大学サテライト（淀屋橋）
【テ　ー　マ】KIX（関西国際空港）におけるLCCの現状と将来の課題
【講　　師】新関西国際空港株式会社コーポレートコミュニケーション部長　石川浩司 氏

（２）第２回観光サロン

【日　　時】2014年２月25日（火）19:00 ～
【会　　場】キャンパスポート大阪（梅田）
【テ　ー　マ】「観光情報サイト」のあり方
【講　　師】NPO法人スマート観光推進機構理事長　星乃 勝 氏

８．学会が主催した関西における催事

観光特別フォーラム『地域における観光産業のあり方と人材育成』

【日　　時】2013年６月22日（土）13:00 ～ 17:00

【会　　場】京都嵯峨芸術大学 有響館４階G401教室

【特別講演】『観光立国への取り組み』観光庁次長　志村　格氏

【基調講演】『旅をデザインする』株式会社ジェイティービー代表取締役社長　田川博己氏

【パネルディスカッション】

『地域における観光産業のあり方と人材育成』

○パネリスト：志村格氏（観光庁次長）、門川大作氏（京都市長）、田川博己氏（株式会社ジェイティービー代表取締役社長）、桑田政美（日本観光研究学会会長・京都嵯峨芸術大学教授）○コーディネータ：吉兼秀夫（日本観光研究学会関西支部長・阪南大学教授）

９．関西支部幹事会開催記録（2013年度）

第１回　2013年４月23日（火）18:30　～　会場:阪南大学サテライト（淀屋橋）
第２回　2013年５月28日（火）18:30　～　会場:阪南大学サテライト（淀屋橋）
第３回　2013年６月25日（火）18:30　～　会場:阪南大学サテライト（淀屋橋）
第４回　2013年７月23日（火）18:30　～　会場:阪南大学サテライト（淀屋橋）
第５回　2013年９月24日（火）18:00　～　会場:阪南大学サテライト（淀屋橋）
第６回　2013年10月22日（火）18:30　～　会場:阪南大学サテライト（淀屋橋）
第７回　2013年11月26日（火）18:00　～　会場:阪南大学サテライト（淀屋橋）
第８回　2013年12月17日（火）18:30　～　会場:阪南大学サテライト（淀屋橋）
第９回　2014年１月28日（火）18:30　～　会場:阪南大学サテライト（淀屋橋）
第10回　2014年２月25日（火）18:00　～　会場:キャンパスポート大阪（梅田）
第11回　2014年３月25日（火）18:30　～　会場:キャンパスポート大阪（梅田）

10．NPO法人「観光力推進ネットワーク・関西」の支援と連携

（１）第８回「地域創造のための観光マネジメント講座」の開催

【日時】2014年１月11日、１月25日、２月１日、２月８日の４日間

【ステップ１：地域創造型観光の基盤：地域資源の再発見と再評価の方法】

会場：阪南大学サテライト（淀屋橋）第１回：2014年１月11日（土）9:30 ～ 11:00　阪南大学教授　吉兼秀夫「地域資源活用の第１歩：「エコミュージアム」の方法」　第２回：2014年１月11日（土）11:10 ～ 12:40　立命館大学客員教授　金井萬造「制度の活用と資金の調達」　第３回：2014年１月11日（土）13:30 ～ 15:00　京都嵯峨芸術大学教授　真板昭夫「持続可能な観光運営の方法」　第４回：2014年１月11日（土）15:10 ～ 16:40　阪南大学教授　吉兼秀夫「ワークショップ１：「宝探し」(地域資源の再発見と再評価）の机上演習」

【ステップ２：地域創造型観光の計画：地域資源の観光への活用方法】

会場：阪南大学サテライト（淀屋橋）第５回：2014年１月25日（土）9:30 ～ 11:00　京都嵯峨芸術大学教授　桑田政美「プロモーションとイベントの活用方法」　第６回：2014年１月25日（土）11:10 ～ 12:40　摂南大学准教授　野村佳子「高品質なサービスを提供するには」　第７回：2014年１月25日（土）13:30 ～ 15:00　神戸夙川学院大学准教授　原一樹「観光と情報・メディア」　第８回：2014年１月25日（土）15:10 ～ 16:40　阪南大学准教授　清水苗穂子「ワークショップ２：地域創造型観光のマーケティング演習」

【ステップ３：地域創造型観光の運営：事業継続の方法】

会場：キャンパスポート大阪（梅田）第９回：2014年２月１日（土）9:30 ～ 11:00　阪南大学教授　森山正「マーケティング／顧客満足と従業員満足」　第10回：2014年２月１日（土）11:10 ～ 12:40　地域計画建築研究所チーム長　高田剛司「着地型観光の担い手」　第11回：2014年２月１日（土）13:30 ～ 15:00　地域計画建築研究所主幹　小阪昌裕「観光マネジメントとまちづくり」　第12回：2014年２月１日（土）15:10 ～ 16:40　大阪市立大学大学院教授　小長谷一之「地域創造型観光のマネジメント」　第13回：2014年２月８日（土）13:00 ～ 17:30　講師全員「ワークショップ３：受講者による地域創造型観光のプレゼンテーション」前回終了後、受講者は地域創造型観光のプロジェクト計画書を作成し、受講者全員でミニ･プレゼンテーションしました。

（２）「地域創造のための観光マネジメント出前講座」

１）九度山町講座

【日時】2014年２月15日（土）10:30 ～ 16:30

【会場】和歌山県九度山町ふるさとセンター【講師】３名（桑田政美、吉兼秀夫、岡本健）

２）富田林市講座

【日時】2014年２月22日（土）13:30 ～ 16:00、３月１日（土）13:30 ～ 16:00

【場所】富田林市立公民館　【講師】４名（桑田政美、吉兼秀夫、岡本健、国枝よしみ）

（３）学生連絡協議会

１）学生連絡協議会総会

【日時】2013年５月18日（土）10:00 ～ 12:00【場所】大阪駅前第２ビル６階　大阪市立大学文化交流センター「大セミナー室」【内容】総会および情報交換会

司会：NPO法人「観光力推進ネットワーク・関西」学生連絡協議会　篠崎直子　前川あすか

【第１部　10:00 ～ 10:30】

１．開会挨拶　NPO法人「観光力推進ネットワーク・関西」理事長　金井萬造　２．趣旨説明　NPO法人「観光力推進ネットワーク・関西」学生連絡協議会担当　原 一樹　３．会長挨拶　NPO法人「観光力推進ネットワーク・関西」学生連絡協議会会長　宮前由佳子　４．新役員挨拶、新大学幹事挨拶、新学生担当教員挨拶

【第２部　10:30 ～ 11:00】

５．2013年度事業予定発表　６．2013年度事業予定に関する質疑応答

【第３部　11:00 ～ 12:00】

７．自己紹介とグループディスカッション（テーマ：「日本の新たな観光について」）　８．発表会

９．各大学で情報交換、または質疑応答

【第４部　13:00 ～ 17:30】

10. 日本観光研究学会関西支部『第10回　意見交換会：関西から観光立国・立圏を考える』への参加

２）エコ活動～竹田城・生野銀山～

【日時】2013年７月６日【参加人数】39名【活動報告】竹田城跡周辺では秋から冬にかけてのよく晴れた早朝に朝霧が発生し、但馬地方風物詩となっています。雲海に包まれた竹田城跡は、まさに天空に浮かぶ城を思わせ、この幻想的な風景を一目見ようとたくさんの人々が訪れます。たくさんの人がハイキングしているので、落ちているゴミを拾い、良い汗をかきながら自然に触れ改めて自然の大切さ、遺産の大切さを再確認。生野銀山では、開坑807年と伝えられ2000年余りの歴史を肌で感じる。生野銀山は近代化産業

遺産として認定されている。そしてガイドの方々に詳しい話を聞き勉強をした。今まであまり知らなかった銀山の歴史、2000年あまりの技術の発展直接聞いて見て知る。そして生野銀山が昔は銀山として栄えていた場所を次は観光地化していることを学んだ。

３）夏合宿～和歌山県紀美野町「たまゆらの里」宿泊＆周辺散策～

【日時】2013年９月３日～４日【参加人数】11名【活動報告】１日目は寺院めぐり主要施設の散策をしたりBBQ・花火をしたりしました。２日目はあいにくの雨でしたが、黒潮市場・和歌山マリーナシティへ行き新鮮なご飯を堪能しました。天候により、当初計画していた予定通りには行きませんでしたが、そういったハプニングにより、よりいっそう仲が深まりました。合宿の目的は「交流」なので、その目的が果たせたのではないかと考える。

４）第10回国内観光活性化フォーラムin和歌山への参加

【日時】2014年２月11日

５）学生連絡協議会準備総会の開催

【日時】2014年２月13日（木）13:00 ～ 17:00【会場】大学コンソーシアム大阪　キャンパスポート大阪ルームA2（梅田）

（４）大阪府「新しい公共の場づくりのためのモデル事業」および「農と食と観光まちづくり協議会（NPO法人観光力推進ネットワーク関西、富田林市観光協会、富田林市、大阪府他10団体）」の応援

「寺内町のまちづくり＋観光＋農の６次産業化」を応援するプロジェクトであり、構成メンバーとしてNPOが参加している。会長である吉兼支部長を中心に応援している。上記の出前講座も協議会を通じておこなった。

11. 支部新年度の予定　2014年度　関西支部総会・意見交換会、学生連絡協議会について

2014年５月24日（土）に開催予定、会場は阪南大学新サテライト（あべのハルカス）を予定。

関西支部地区懇話会　於 守山市
2014年２月23日（日）写真

日本観光研究学会・関西支部（JITR-Kansai）
ニューズレター『観光学』第２号(2013年度)
発　行：2014年３月10日
発行人：吉兼秀夫
編集人：小長谷一之
【事務局】阪南大学国際観光学部大谷研究室気付
〒580-0033 大阪府松原市天美南1-108-1
Email:otani@hannan-u.ac.jp（事務局大谷）